

福田寺だより

東寺真言宗 宗務総長に就任

神奈川県小田原市飯田岡二五七
飯田山 福田 田 寺
住職 橋本 尚信

発行

七月のお施餓鬼で披露がありましたように、福田寺住職が、東寺真言宗の宗務総長に任命されました。過去十五年間、庶務部長としての実績があつてのことですが、宗務総長となりますと、包括宗教法人、「東寺真言宗」の代表役員（住職）となりますので、宗団に関する全ての責任を負わなければなりません。その意味では重責であります。頑張つ

て務めたいと思っております。任期は一期三年であります。すでに就任以来半年が経過致しましたが、順調に進んでおります。今後とも檀信徒の皆様の、ご理解とご協力をお願ひいたします。なお、宗務総長就任に際し、檀信徒の皆様からこころ温まる御祝儀をいただきましたこと、あらためて御礼申し上げます。有り難うございました。

総長決定の様子をお知らせします。
六月十四、十五日の両日に亘り京都東寺に於いて、東寺真言宗宗議会が招集され、全国から宗会議員が十五名集合し、任期満了に伴う宗務総長の選定が諮られました。議長が宗務総長指名に関する宗憲を読み上げ議事に移り、六名の推薦委員会が組織されました。推薦委員会協議のため一次休会し、本会議再開後推薦委員会が橋本尚信を推薦する旨の報告あり、全会一致で決定されました。その後、橋本総長が、庶務部長、法会部長、教学部長、財務部長を発表し、新しい内局を構成しました。

続いて、総長就任に当たって、所信表明を述べ、①僧侶が直面している諸問題に真剣に取り組み、大師の御心に叶う本物の僧侶集団を目指す。②宗・本関係は現在の体制を是とし、意思疎通を図り強固な体制を築く。③教線の拡大を推進する、の三点を挙げ理解と協力を求めました。

☆★○●○☆★○●○☆★○●○☆★○●○☆★○●○☆★○●○☆

● ○ ★ 寺院・僧侶が抱える問題

◎☆○●○☆★○●○☆★○●○☆★○●○☆★○●○☆

近年、寺院を取り巻く社会環境が急激に変化しております。先祖供養の希薄化、祭祀継承者の不在など、多くの問題が露呈してきています。家制度の崩壊、人口の流動化（サラリーマン家庭が七割）、病院で亡くなるのが当たり前（八割五分）、先祖の墓を守り供養するのは子孫の義務（四割）、墓地継承者で将来無縁になると感じている人（二割五分）といった人々の意識の中で、寺院はどうに対応したらよいのか難しい問題を抱えているのです。このような状況の中で、僧侶は何が出来るのか、また、どうしなければならないのか考えてみたいと思います。

日本は高齢者社会に突き進んでいます。その先にあることとして、脳死の問題、尊厳死の問題、終末医療の問題などがあります。このような問題こそ宗教者が向き合うべきことではないでしょうか。葬式仏教を完璧に寺院や僧侶が貫けるなら素晴らしいことだと思います。つまり、亡くなつていく人と遺される人双方に寄り添い、救い癒して行くことが出来たならそれは素晴らしい事だし、又、しなければならない事だと思いります。更に死の恐れに対する様々な統計によりますと葬式仏教が担うべき範疇は、生きる事全てであるし、死んだらどうなるのかという不安が

死の恐怖につながっている事をかんがみると、宗教者だからこそ出来る事がたくさんあるのではないかと思思います。私たち一人一人は必ず死に向かって生きています。もし「死」が不幸な出来事なら、私たちは全員不幸に向かって生きていることになります。それでいいのでしょうか。私たちは幸せになるために生きているはずです。其が全否定されてしまうのはどうか。そんなことあつてはなりません。「死」を不幸としない生き方が必ずあるはずです。それこそが私たちが求めているものではないでしょうか。

とは言つても一人の「死」は周囲に甚大な影響を与えます。周囲は、苦しみ、悲しみ、絶望さえ味わうこともあります。生きる事は苦しみであります。死の恐怖に対する様々な統計によりますと葬式仏教が担うべき範疇は、生きる事全てであるし、死んだらどうなるのかという不安が

福田寺納骨堂

— 平成二十年度完成へ —

部分は完成させたいと思います。

多宝塔は第二期工事として、後年で
きるだけ早い時期に進めたく思いま
す。

福田寺に納骨堂が必要であるとい
うことは、以前から話題にされてい
ました。世話をさん方は諒承してく
れました訳ですが、具体的な検討ま
ではなかなか至りませんでした。
しかし、年が経つにつれその必要性
がますます感じられるようになりま
した。前頁で述べましたように、こ
れからの時代、家制度の崩壊に伴い
墓地の継承が難しい社会状況になり
つつあります。しかし、先祖供養は
方法の違いはあるにせよ、人として
変わらぬ大切な事であるという認識
は皆持っております。そこで、墓地
を代々継承していくのは難しいけれ
ど、先祖供養ができる施設が欲しい

という人が増えているようでありま
す。その為にどのような供養施設が
必要か、いろいろと検討してきた訳
ですが、構想がまとまりましたので
いいよ着工に向けて進めたいと思
つております。

先ず、寺院の伽藍の一部として、景
観に優れているものであること。そ

の為に、将来的に多宝塔を上部に聳
えさせ、参詣の堂宇とすること。

佛教相談

セントタ — 開設

次に、各家、各個が自分の家(個)
として独立した納骨壇を持ち、各々
がお参りできること。また、各人が
必要性に応じて選択できること。な
どをかんがみ、計画を致しました。

来年、平成二十年度中には納骨堂の

パンフレットを同封致しますので、
各檀信徒の皆様には、ご親戚、お知
り合いで、納骨堂の永代使用を希望
される方がおられましたら、是非勧
めてあげて下さい。不明な点や各人
の条件などがあれば、いかようにも
ご相談に応じますので、その点もお
伝えいただき先ずは連絡をするよう
にお勧め下さい。

福田寺

* * * * *

電話0465-1361-2755

* * * * *

* * * * *

仏事に関して、どうしたら
よいのか? どんな些細な
事でもご相談ください。

* * * * *

事でもご相談ください。

* * * * *

事でもご相談ください。

* * * * *

新年厄除け薬師護摩手供養

申し込み受付中

一月八日午後一時より修行

恒例の新年厄除け護摩を一月八日
午後一時より修行致します。護摩を
焚く修業は、近年いろいろな所でさ
れていますが、正統に受け継がれて
いるのは密教寺院であります。福田
寺は、京都・東寺を本山とする真言
密教の寺で、創建以来八百七十年、
密教寺院としての歴史を刻んで参り
ました。

檀家以外の方でも勿論結構ですの
で、皆様お揃いで新年の護摩供養に
お参り下さい。

記

期日···一月八日、午後一時より

祈祷料···三千円

祈祷内容···厄難消除(厄よけ)

身体健全、病魔退散、家内安全、
交通安全、商売繁盛、業運繁榮、
学業成就、合格祈願、安産祈願、
子授け祈願、その他

申し込み···一月七日まで、電話可

電話 0465(36)27555
FAX 0465(37)6688

暮れのお参りの時に、本堂入り
口に用意された納め場所に納め
て下さい。特に大きなものや、
燃えないものは、寺の者に連絡
してください。

年回のお知らせ

除夜の鐘とともに、本堂の扉
を開けておきます。
午前0時より一時まで、住職に
より新年の御祈祷が修法されま
す。ご自由に参拝ください。

菖蒲のわ參り

男性	
前厄	昭和四十三年生まれ
本厄	昭和四十二年生まれ
後厄	昭和四十一年生まれ

女性

女性	
前厄	昭和五十二年生まれ
本厄	昭和五十一年生まれ
後厄	昭和五十年生まれ

来年度の年忌(年回)法要の
張り紙を本堂に掲げておきます
ので暮れのお参りのときに自分
の家の年忌を確認して下さい。
年忌に相当している場合、法要
の日取りを早めに連絡して下さ
い。